

まちづくりの目標 2

健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり（健康・福祉）

次に、まちづくりの目標 2「健康でいきいきと暮らし、支えあうまちづくり」について申し上げます。

まず、**健康づくりと医療体制の充実**につきましては、健康寿命の延伸を目指し、令和4年度に新たに整備した福祉医療M a a Sや導入をすすめている「健康アプリ」などを有効に活用し、各種団体等との協働により、市民一人ひとりの健康意識の向上や生涯を通じた継続的な健康づくりに取り組みます。加えて、がん検診の無料化を継続し、効果的な受診啓発に取り組むことにより、検診及び精密検査の受診率向上に努め、さらに、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症予防対策として、市民への迅速な情報提供を行うとともに、関係機関と連携を図り、各種予防接種を実施してまいります。

また、一次救急の要である休日夜間急患センターにつきましては、引き続き新センター整備に向け取り組んでまいります。

次に、**地域福祉の充実**につきましては、新居浜市社会福祉協議会や民生児童委員と連携し、地域福祉活動の推進及びボランティア人材の育成を図ってまいります。

次に、**障がい者福祉の充実**につきましては、障がいのある人もない人も互いに支え合い、地域で安心して生き生きと暮らせる社会の実現を目指す「ノーマライゼーション」理念の普及啓発を進め、障がいへの理解促進を図り、地域共生社会の構築を推進してまいります。

次に、**高齢者福祉の充実**につきましては、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者を継続的かつ包括的にケアする「地域包括ケアシステム」の構築に取り組み、在宅支援体制の充実を図ってまいります。

また、高齢者のフレイルを予防して健康寿命の延伸を図るため、国保データベースシステムを活用して、課題分析、事業企画を行います。

さらに、認知症サポーター養成事業等の啓発事業により、認知症への理解を促進し、認知症高齢者見守りS O Sネットワーク活動の充実を図ることにより、行方不明となった高齢者等の生命・身体安全確保と家族等への支援を進めてまいります。

また、令和5年10月に、愛媛県において「ねんりんピック愛顔のえひめ2023」が開催され、本市では、バウンドテニス、サッカー、軟式野球の3種目を実施いたします。

次に、**社会保障の充実**につきましては、生活保護制度と生活困窮者自立支援

制度の適正実施と連携強化に取り組むとともに、介護保険制度では、介護認定調査水準の向上、介護認定審査会における判定理由の明確化等により、介護給付の適正化を推進してまいります。

また、国民健康保険事業につきましては、将来にわたって持続的に安定した財政運営を続けていくために、適正な保険料率への見直し、保険料の収納率向上対策を図るなど、歳入確保に努めるとともに、特定健康診査・特定保健指導の充実、医療費の適正化についても積極的に取り組んでまいります。